



篠原 菊紀 (しのはら きくのり)

公立諏訪東京理科大学教授、医療介護・健康工学部門長。健康科学、脳科学が専門。「快感・楽しさ」をキーワードに依存問題のほか、「コンテンツの快感を量的に推定する研究」などを行っている。多くのテレビ、ラジオ番組などで解説や監修をつとめる。

パチンコ・パチスロ

スマートPLAYスタイルのススメ

ギャンブル障害の基礎知識

世界保健機構 (WHO) は2022年2月、
これまでアバウトだった

「ギャンブル障害」の診断要件を厳密に決め、
「危険な遊び方」との区別を求めています。

「ギャンブル障害」と「危険な遊び方」の違い

リスクが
高まる
主な行動

①

遊び方を
コントロールできない

②

人生の関心事や日常生活より
パチンコ・パチスロを
優先してしまう

③

人間関係や健康・経済面への
悪影響があるのに
続けてしまう

ギャンブル障害

①～③のすべてが
長期間 (例えば1年以上) 続いており、
これらが原因で生活に顕著な障害が発生したり
本人や周囲が苦痛を感じたりしている

対処法

自己申告・家族申告プログラムを活用する
リハビリサポート・ネットワーク、
保健所、精神保健福祉センターに相談する

危険な遊び方

ギャンブル障害ではないが、本人や周囲に
健康被害が生じるリスクが高まっている状態。
世にあふれるチェックリストなどで、「依存症かも?」と
思った状態のほとんどはこちらとなる

対処法

電話相談などを利用する
「プレコミットメント (事前の取り決め)」を
しておくことで「危険な遊び方」を減らす
自己申告プログラムを活用する

3つのプレコミットメントで「危険な遊び方」を減らそう!

スマートPLAYスタイル3ヶ条

決め
パチ!

上限金額を決めよう!

自分に負担のかからない範囲で、
「今月はいくらまで」と決めたらうで楽しもう!

よゆ
パチ!

空いた時間で遊ぼう!

時間に余裕のある時に遊び、誰かとの
約束などは破らないようにしましょう!

シェア
パチ!

周りの人に話そう!

負けを取り戻そうとしてウソをついたりせず、
勝っても負けても正直に周りの人に話そう!

自己申告・家族申告プログラム

で

スマートPLAYスタイル

を!

自己申告・家族申告プログラムは、

パチンコ・パチスロを楽しく遊んでいただくために、
ご自身で上限金額や遊技時間をあらかじめ決めて遊ぶ
「スマートPLAYスタイル」をアシストする取り組みです。

ご家族からのお申込みによる入店制限のプログラムもあります。

※店舗によってお申込みできるプログラムが異なります。詳しくは下欄HPでご確認ください。



自己申告
家族申告
プログラム

ご利用いただけるプログラムの種類

自己申告プログラム

ご本人様がお申込みいただくことでご利用できます



上限金額

1日の遊技金額を
設定して申込み



上限回数

1ヶ月の来店回数を
設定して申込み



上限時間

1日の遊技時間を
設定して申込み



入店制限

ご入店の
制限を申込み

上限を超えた場合(入店制限は入店を確認した場合)、
店舗スタッフがお声がけをいたします

家族申告プログラム

ご家族の方がお申込みできます



入店制限

ご入店の
制限を申込み

遊技者ご本人様の
入店を確認した場合、
店舗スタッフが
お声がけをいたします

加えて…

申込みされたご家族様にも
ご連絡いたします

遊び方を決めて楽しくパチンコ・パチスロを!

自己申告・家族申告プログラムが

〈あなた〉と〈あなたの大切な方〉を
サポートします。

パチンコ・パチスロ産業21世紀会

